

（仮称）松林地区地域集会施設等複合施設

— 基本設計 —

概要

計画概要

市域の北東部地域 地域特性としては、自然と田園に恵まれた住宅地で、子育て世代を含め、若い年齢層の割合が高いということがあげられる。

市営高田住宅の2階建て棟の除却後の一部を整備した場所で、周囲は住宅地にかこまれている。南側と東側は比較的交通量の多い道路となっており、西側と北側は今後利活用を検討することになっている更地である。

松林地区は自治会をはじめとする地域活動が盛んであり、地域包括支援センターや地区ボランティアセンターを複合施設化し、地域の拠点として重要な役割をもつことになっている。

建築概要

計画地：茅ヶ崎市高田二丁目95の一部

敷地面積：1500㎡

用途地域：第1種低層住居専用地域

防火地域：準防火地域

その他：敷地面積最低限度100㎡

絶対高さ制限 10m

日影規制 (5m-3時間 10m-2時間)

前面道路幅員：南側(市道0204号) 6m

東側(市道0211号) 8.8m

建ぺい率：50%(角地緩和 60%)

容積率：100%

用途：地域集会施設、地区ボランティアセンター、地域包括支援センター

構造/階数：鉄骨造/2階建て

建物高さ：9.95m

建築面積：約830㎡

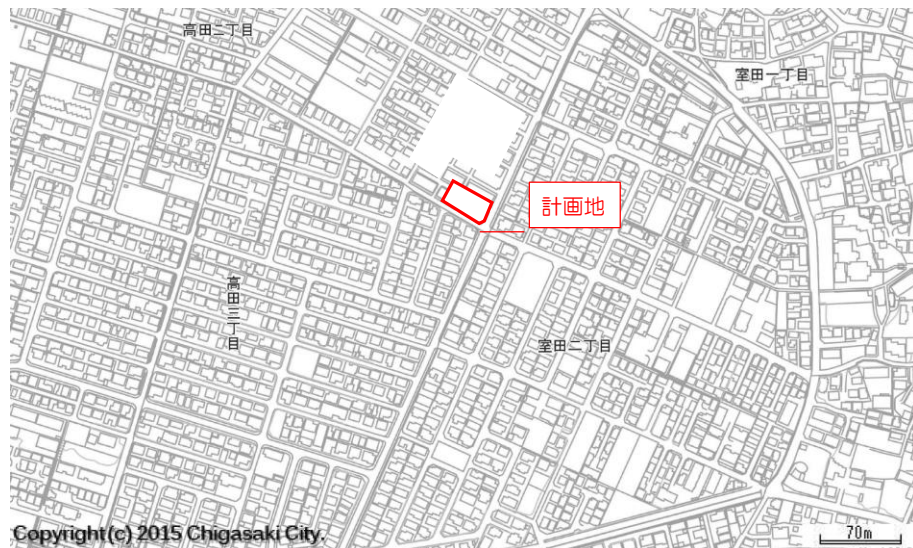
建ぺい率：55.2%

延床面積：約1,200㎡

容積率：78.9%

自動車駐車台数：10台(荷捌き駐車場含)

駐輪台数：約39台



案内図

コンセプト

計画コンセプト

松林地区は自治会をはじめとする地域活動が盛んであり、地域活動の拠点としての地域集会所の建設が強く望まれ、地域からの要望書をふまえた基本計画において、下記のような基本理念と基本方針が設定されている。

(仮称)松林地区地域集会所等複合施設において、まずは多様な目的で幅広い世代が気軽に来訪できるように、様々な需要に応えるとともに、来訪を契機として、世代を超えた地域住民同士の交流を促します。交流をととして、地域文化の継承や創造を進め、支え合いの心と地域への愛着を育みます。地域への思いを尊重し、一人一人が生きがいを持ち、心身の健康を大切にしつつ、お互いを支え合う地域社会を根底から支える施設を目指します。

基本方針①「市民の交流」	多世代が気軽に来訪し交流でき、誰でも気軽に集えるコミュニティセンター
基本方針②「文化・学び」	地域文化を継承しつつ、創造と発信を担うコミュニティセンター
基本方針③「健康・スポーツ」	健康の維持増進のため、スポーツを楽しめるコミュニティセンター
基本方針④「福祉」	心やさしい思いやりと生きる心を育み、地域福祉につなげるコミュニティセンター

本計画では、コミュニティセンターに包括支援センターとボランティアセンターという公共施設を複合施設化することになっており、より多世代、より多様な目的での使用が想定される。次世代につながる地域拠点を目指して、以下の理念を掲げる。

- ・誰もが利用しやすく、気軽に立ち寄れる居場所づくり。
- ・目的だけの利用ではなく、多様なこと、もの、人に会える場所づくり。
- ・出会って新たな交流を生み、活動できる環境づくり。

上記理念を実現するコミュニティセンターとして、コミュニティが生まれ、育まれる場所とするため、下記4つのポイントに基づき構成した。

①外から活動が見えるようになっていること。

外からとは、敷地の外（道路）から屋外スペースや建物の内部が見える。敷地内屋外スペースや駐輪場から建物の内部が見える。建物内部フリースペースから各室内が見える。以上、3つの場面を実現している。

②目的なくふらっと立ち寄ってみようと思う空間があること。

- ・屋外フリースペースは歩行者のみの空間とし、外部でも安全に安心してのんびりとできる空間とした。
- ・カフェの厨房を屋外フリースペースに面するようにし、外部からも飲み物などが買えるように計画した。
- ・庇を伸ばし、縁側のような空間をつくり内部に入らなくても心地よく滞在できるようにした。
- ・屋内フリースペースの中に小上りのような場所を設け、いつでも気軽に滞在できるようにした。

③多様な居場所があること。

- ・屋外に、1階レベルと2階レベルの居場所をつくり、好きな場所を選べるようにした。
- ・1階は動的に使用するフリースペース、2階は静的に使用するフリースペースという性格の違うフリースペースとした。
- ・1階のフリースペースに面して床や天井の高さが違う場所を設けた。

④フレキシブルに使えること。

- ・1階フリースペースは屋外フリースペースとつなげたり、体育室とつなげたり目的に応じて広さを使いわけることができるようにした。
- ・2階フリースペースは、会議室6とつなげて大ホールとしての使用も可能にした。



@岩手県北上市保健・子育て支援複合施設 hoKto

①外から見える



@静岡県袋井西コミュニティセンター

①外から見える



@神奈川県愛川町春日台センターセンター

②立ち寄る空間



@神奈川県愛川町春日台センターセンター

②立ち寄る空間



@岐阜県みんなの森 きふメディアコスモス

③多様な居場所



@神奈川県茅ヶ崎市高砂コミュニティセンター

④フレキシブルに使う

配置計画

施設配置計画及び動線計画

○明確な歩車分離

歩行者、自転車、車の各出入口を分け、歩車分離した。

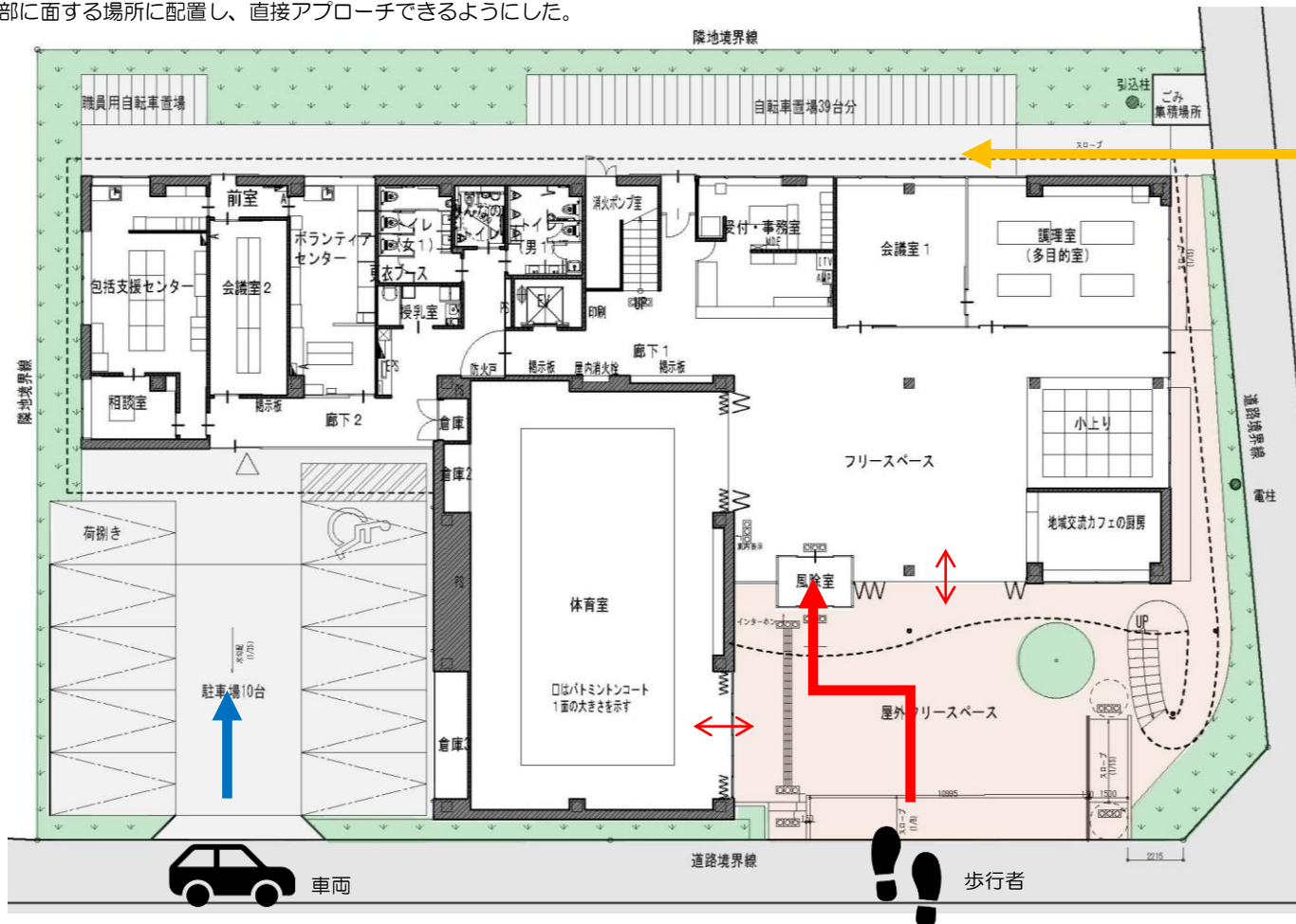
○地域に開かれた屋外のフリースペース

屋外スペースは交差点側に設け、通りから見やすく入りやすい位置とした。

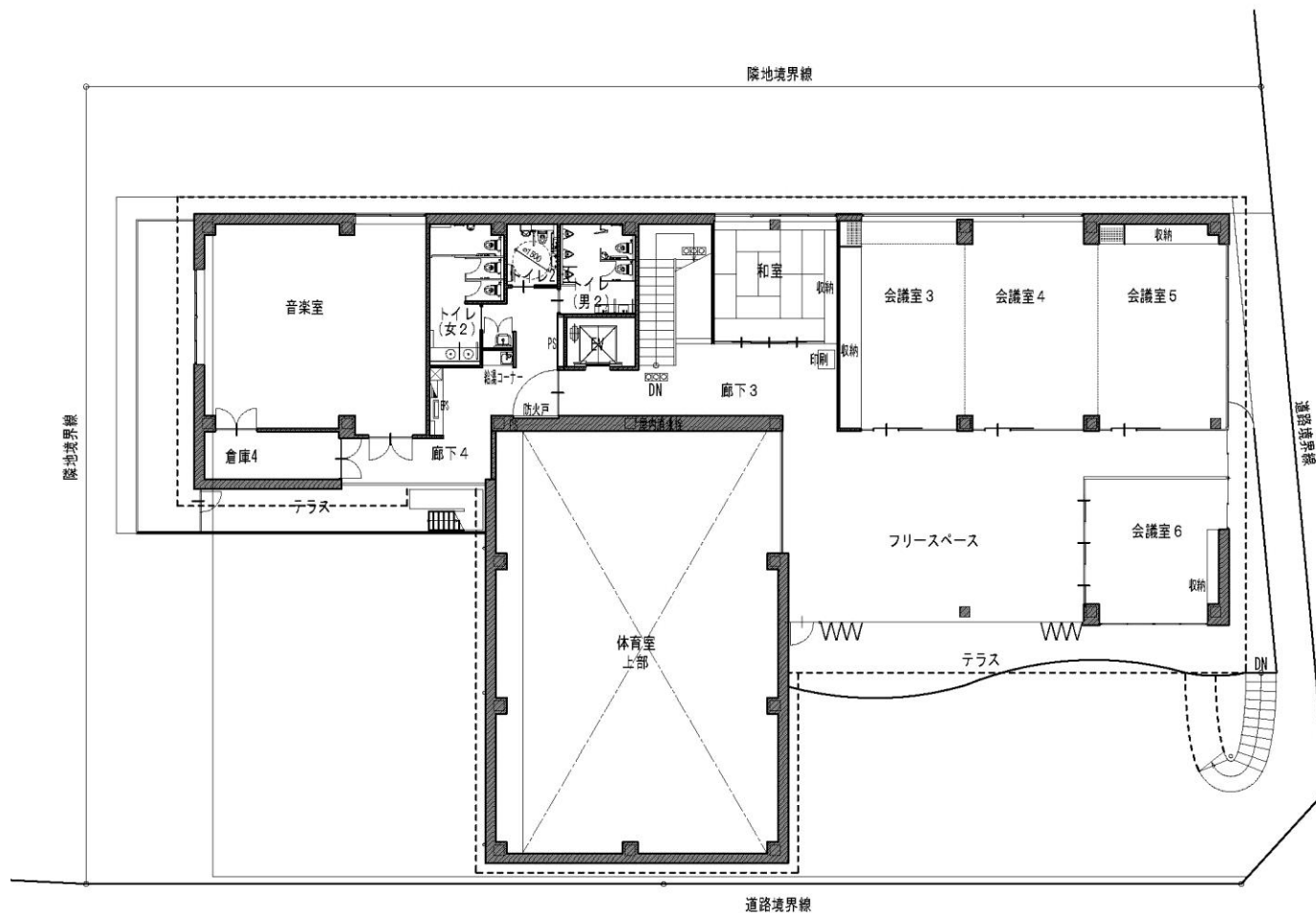
車両の進入口を別に設け、歩行者のみの屋外フリースペースとしているので、誰もが気軽に安心して滞在できる空間となっている。

○視認しやすく入りやすい包括支援センターとボランティアセンター

道路側の外部に面する場所に配置し、直接アプローチできるようにした。



1階平面図



2階平面図